

平野啓一郎氏講演会

「あり得たかもしれない〈私〉の人生 ～『富士山』刊行記念」

小説『日蝕』で芥川賞を受賞後、『葬送』『マチネの終わりに』『ある男』など多くの作品を発表され、最近では『本心』が映画化され話題となっている小説家平野啓一郎先生をお招きした講演会。執筆に関わるエピソードや日々の生活・関心事、今後の執筆活動の展望等についてお話いただきます。プロローグ・エピローグでは平野先生に選曲いただいた楽曲をクラシックギターの生演奏でお届けします。会場であります昭和音楽大学ならではの“文学”と“音楽”の融合のひとつをお楽しみください。

2024.

11.25 Mon. 13:30開演
(13:00開場)

昭和音楽大学 南校舎5階 ユリホール

(小田急線「新百合ヶ丘」駅南口より徒歩4分、新宿から快速急行で22分)

Program

- || プロローグ演奏 || ヴィラ・ロボス: ガボット・シヨール
- || 平野啓一郎氏講演会 || 「あり得たかもしれない〈私〉の人生
～『富士山』刊行記念」
- || エピローグ演奏 || バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第3番 プレリユード



小説家
平野 啓一郎
Keiichiro HIRANO

1975年愛知県生まれ。北九州市出身。京都大学法学部卒。1999年、大学在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により芥川賞を受賞。著書は小説作品として『日蝕』『一月物語』『葬送』『高瀬川』『決壊』(芸術選奨文部科学大臣新人賞)、『ドーン』(第19回 Bunkamura ドゥマゴ文学賞)、『かたちだけの愛』、『空白を満たさなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』(第2回渡辺淳一文学賞)、『ある男』(第70回読売文学賞)、『本心』などがある。評論、エッセイとして『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、『小説の読み方』、『私とは何か「個人」から「分人」へ』、『考える聲』、『カッコいい』とは何か、『死刑について』、『三島由紀夫論』(第22回小林秀雄賞)などがある。

© Tamaki Yoshida

クラシックギター
熊谷 俊之
Toshiyuki KUMAGAI
(昭和音楽大学講師)



入場料〔直筆サイン本付/全席自由〕 10/10(木)10:00発売

▶ OPクレジット会員
¥4,870
※別途手数料330円要



詳細・
お申し込みは



▶ 小田急ONE会員
¥5,200



小田急ONEは会員登録無料です。
この機会に是非ご入会ください!

▶ 一般
¥5,500

CNプレイガイド 検索 ※別途手数料330円要

昭和音楽大学チケットセンター
TEL 044-953-9899 平日10:00～18:00 (12:00～13:00、11/1を除く)
昭和音楽大学チケットセンター 検索 インターネット
24時間購入可・登録無料



短篇集としては10年ぶりの発表!

新刊 平野啓一郎 著 新潮社
『富士山』

発売日: 2024年10月17日
価格: 単行本 1,870円 (税込)

『富士山』特設サイト <https://k-hirano.com/mt.fuji>

講演に関するお問合せ: (株)プレラーディオ TEL 044-953-2105 (平日10:00～17:00)

- 講演会の日時や内容等は都合により変更する場合がございます。
- お申し込み後の変更・キャンセルは承ることができません。
- 未就学児の同伴はお控えください。 ● 体調不良の方はご入場をお控えください。